

『市長とみらい』を語る集い』開催

十和地区の方を対象に10月26日『市長とみらい』を語る集い』を開催しました。

会場となった谷和原保健福祉センターには、約30人の方が訪れ、今後のつくばみらい市のまちづくりについて、ご提案ご提言をいただきました。

懇談会でご提案ご提言いただいた内容をお知らせします。

男性 私は農業をやっています。先ほど市長から、市のビジョンとして、農業に関しては、ブランド化という話がありました。が、市の将来構想ということで、「道の駅」の構想をぜひ希望したい。それは、農業ばかりでなく市の活性化などいろいろな問題も含んでいますので、検討をお願いしたい。

男性 私も農業を始めてかれこれ40数年になります。手作業から機械化へと移ってきたが、多



▷参加者の提言を受け、市の将来像を語る片庭市長

くの家庭では、まず機械が老朽化、それから実際にやっている



市長に提言・提案を行う参加者

民間保育園を誘致

市では、増加する保育所待機児童の解消と多様化する保育環境を整備し、柔軟な保育サービスの向上を図るため、民間事業者を公募しました。選考の結果、株式会社アイグラン（広島県広島市）に決定し、平成25年4月1日、富士見ヶ丘3丁目308街区に（仮称）あい保育園富士見ヶ丘が開園予定です。

10月23日には、開園予定地において、片庭市長をはじめ関係者出席のもと地鎮祭が行われ、



▷安全祈願を行う片庭市長

建設工事の安全祈願が行われました。

人の高齢化、両方が進んでいると思う。ライスセンターでは頼まれる範囲がだんだん広くなり満杯状態、飽和状態だと聞いている。今すぐ何らかの受け皿を作ってくれというのではなく、先々起こりうる問題に、早いうちに方向付け、そういう設備をつくることをお願いしたい。

市指定金融機関を2行交替制に

市では、金融機関の競争意識による市民サービスの向上を図るとともに、指定金融機関間の事務引継ぎの実施によるチェック機能の強化を図るため、市の

善意の寄附をいただきました

寄附されました。

【社団法人茨城県公共嘱託登記士地家屋調査士協会様より】

社団法人茨城県公共嘱託登記士地家屋調査士協会様より、東日本震災の災害復旧事業に役立ててほしいと、5万円が市に

指定金融機関に株式会社筑波銀行を新たにに加え、平成25年4月1日から株式会社常陽銀行との2行による2年ごとの交替制を実施します。

指定の順番と期間は次のとおりです。

①株式会社筑波銀行

平成25年4月1日～平成27年3月31日

②株式会社常陽銀行

平成27年4月1日～平成29年3月31日

※市税や使用料などの納付窓口や納付手続きなどの取り扱い、コンビニエンスストアでの納付については、従来のとおり変更はありません。

問 伊奈庁舎会計課 ☎58
2111（内線1100）



片庭市長に目録を手渡す小沼理事長と明問学園地区理事

【ふるさと寄附について】

市では、市民の皆さんやほかの地域に暮らしながらつくばみらい市を「ふるさと」として思いを寄せ貢献したい、応援したいという方からの寄附金を募り、それを財源として個性あふれるまちづくりに役立てるために「つくばみらい市ふるさとづくり寄附」を受け付けています。皆さんからの寄附金は、「環境共生型まちづくり事業」「安心して暮らせるまちづくり事業」「地域の魅力をいかしたまちづくり事業」に活用させていただきます。皆さんのまちづくりへの思いを心からお待ちしています。